

地域振興推進費事業計画・自己評価書(平成30年度実績)

提出区分	実績			佐久地域振興局		
整理番号	14	課題区分	C			
実施機関	佐久地域振興局			担当課	所属	商工観光課
事業名	浅間山周遊登山魅力発信事業				電話	0267-63-3157
					E-mail	sakuhci-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	現在、浅間山は火口周辺規制により登山客の減少が続いている。そこで、火山館コース登山口と黒斑コース登山口とを周遊するコースを多くの登山客に知ってもらい、変化に富んだ魅力ある浅間山登山を提案することで登山客の増加を図る。				
	現状と課題	昨年度の取組み(モニターツアー及び関係機関との検討会議)により、こもろ観光局のツアー化及びシャトルバスの運行につながった。より多くの来訪につなげるために、更なる情報発信に努める。				
	内容 (変更後の内容)	1 地元団体(市町村、観光協会等)と連携し、浅間山に関心のある登山客及びマスメディアで情報発信を行ってもらえる人を対象に浅間山を紹介するイベントを銀座NAGANOで開催し、浅間山の魅力や地元団体の取組について周知を図る。 2 県外の登山客を対象に、一泊二日の浅間山周遊登山モニターツアーを開催し、浅間山の魅力について情報発信をしてもらう。参加者の宿泊費については委託料の一部とし、現地までの交通費は参加者負担とする。 3 平成30年8月30日浅間山噴火警戒レベル引き下げに伴い前掛山山頂まで登山が可能となったことを広報するため、来シーズンに向けた登山情報誌に掲載するための取材を行う。				
	事業期間	平成30年5月		～	平成31年3月	
	成果目標 (成果指標)	県外の登山客及びマスメディアを通じて県内外の登山客に情報発信することで、浅間山登山客の前年以上の増加を図る(平成29年約2.9万人)				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考		
	銀座NAGANO PRイベント『浅間山の魅力に迫る!』もっと楽しめる周遊登山をご紹介	①浅間山周遊登山の魅力について ②火山としての特性と防災体制について ③9月開催の浅間山周遊登山モニターツアーのPR ④地元団体の取組	83,484			
	浅間山周遊登山モニターツアー	①前日に黒斑コース登山口と火山館コース登山口に宿泊 ②翌朝各登山口から出発し、片方の登山口へ下山 ③下山後、浅間山周遊バスで小諸駅まで戻る	439,690			
「山と溪谷」へのタイアップ記事掲載に係る取材	浅間山噴火警戒レベル引き下げに伴う周知、広報のため登山情報誌「山と溪谷」において記事掲載するための取材を行う	648,000				
合計			1,171,174			
事業実績・成果	事業実績	事業の成果	評価			
	○5/25 銀座NAGANOで浅間山周遊登山の魅力を発信するPRイベントを開催(参加者23人(うちマスメディア4社5人)) ○9/8・9 県外在住者を対象に浅間山周遊登山モニターツアーを実施(参加者16人) ○9/7 信州産直市(JR大宮駅)、9/20・21 首都圏観光・物産PRキャンペーン(日本橋イベントスペース)で浅間山ガイドブックを配布(計500部) ○8/31、10/22にヤマケイオンラインで浅間山のPR記事掲載、9/27～28に来シーズンに向けた取材を実施 ○情報交換会において関係者と今年度及び来年度の取組についての情報を共有	○首都圏の登山愛好家を対象に浅間山周遊登山の魅力について周知することができた。 ○浅間山周遊登山の魅力や周遊バスの利便性についてアンケートを実施し、「浅間山の魅力が倍になった」など高評価を得た。 ○浅間山噴火警戒レベルが引き下げられ、前掛山山頂まで登頂することができるようになったことから、機会をとらえて周知することができた。 ○平成30年の浅間山登山客数は前年を上回る41,700人(速報値)となった。	○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下			
今後の方向性	来シーズンに向け誘客と安全登山に対する更なる情報発信に努める。					